

令和8年度 第1回 政策調整会議 会議録

-
- ◆開催日時：令和8年5月25日（月） 9：58～10：19
 - ◆開催場所：第2委員会室
 - ◆出席委員：藤浪副市長、岸副市長、谷教育長、高井総合政策部長、新内財務部長
（谷口総務部長欠席）
 - ◆説明者：中井企画課長、貝口参事、布村担当長
-

◆審議事項

令和9年度国家及び大阪府予算に対する要望について・・・・・・・・・・・・・・・・企画課⇒承認

◆審議概要

◎付議依頼書等に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈藤浪副市長〉要望についての説明の際には簡潔明瞭に、かつきちんと思いを伝えられるように、所管部長には説明を工夫するよう調整してもらいたい。

〈岸副市長〉木材コンビナートの跡地については、一部が忠岡町の区域になっているので、忠岡町からも要望が出ているか確認しておいてほしい。忠岡町も同じような要望をしているのであれば、足並みをそろえることによって要望がより強固なものになると思う。また、庁内へ案件について照会した中で、今回の要望以外にも出されてきた案件はあるか。

〈参事〉出されてきた案件は全て掲載している。

〈岸副市長〉要望は岸和田市独自の取組で、という説明があったが、他にも何か制限はあるのか。毎年同じ取組を要望し続けることも必要だが、新規で要望できる案件もあるのではと思う。

〈参事〉3月中旬に全課に照会しており、その際には前年度の要望内容等も参考に送付している。新規については市長会等で行った要望と重ならず、市の独自のものでということで照会しているが、新規案件についての相談等も特にはなかった。

〈教育長〉3-①「豊かな海づくりの推進について」の魚食教育の推進というところに関連して、教育委員が学校訪問の折、地産地消の一環である大阪湾で採れた魚を給食で食べる予定である。また、過去には神於山で植樹祭が行われていたように記憶しており、漁業関係者が出展ブースを作っていた。いわゆる里山保全が大阪湾の水質に大きく関わることだが、この点に関してはプランの中に記載がないようなので、もし何か関連項目があるのであれば教えてほしい。

〈企画課長〉岸和田市は山から海までの資源がある中で、資源の繋がりというところは意識されている取組と認識している。

〈教育長〉4-①「災害対策の充実」について、最近、防災に関して非常に関心の高い方が増えている印象がある。今回は府営蜻蛉池公園の事業未認可エリアの整備についての要望と

いうところで、災害時に市民の方が避難されるとき、公園でテントを立てるというニュースをよく見る。公園にテントを立てる許可については手続きが必要だと聞くと、そのあたりのことについて市民の方と意見交換する機会も増えているので、何か分かることがあれば教えていただけたらと思う。

〈企画課長〉蜻蛉池公園において、一般の方がテントを張る等の災害時の使用方法については確認していないので分からない。一般の方が居住という目的で公園を使うというのは、占用許可の問題があると思う。災害の際にはどういう対応ができるのか、確認できればと思う。

〈総合政策部長〉原案のとおり、政策決定会議に諮ることとしてよいか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり政策決定会議に付議する。

別紙

付議会議	令和8年度 第1回会議
付議事項	令和9年度国家及び大阪府予算に対する要望について

★取組の目的

対象	国及び大阪府
どのような状態を目指す	国及び大阪府の予算に対する本市の要望を的確に各大阪府議会議員団に伝え、要望内容が可能な限り実現されることで、本市の施策・事業の推進と市民生活の向上をめざす。

★総合計画上の位置付け

6020202	基本目標	みんなで作る持続可能なまち
↑ここにコードを入力 (コードは「将来ビジョン・岸和田(体系)」シートを参照)	個別目標	持続可能で信頼される行政になっている
	個別目標の方向性	② 適正で効率的かつ効果的な業務の実施を進める
	行政の役割	広域的視点をもって、時代に応じた施策を積極的に推進する

★現状と課題

<現状>
国及び大阪府の厳しい財政状況により、国及び大阪府から本市への補助金の減少が懸念されるほか、本市における大阪府の各種整備事業が進んでいない状況にある。

<課題>
国及び大阪府からの補助金の減少は、本市事業の推進の遅延原因となり、大阪府の本市における各種整備事業の遅延は、市民の住環境等に大きく影響を及ぼすため、継続して国及び大阪府に要望する必要がある。なお、要望事項については、本市独自の課題に精査している。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項	決算(見込額)		予算額	見込額				
	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
財源内訳	国費							
	府費							
	起債							
	一般財源							
	その他							
事業費	計			R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
			0	0	0	0	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性*

人員増の必要性			R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
有	無						

★取組の効果を表す指標

指標名	単位	R6年度	R7年度	R8年度	目標値				
					R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度
①									
②									

※事業費及び人員を確約するものではない。